

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 昭和大学病院における食道がん患者の周術期等口腔機能管理の実態調査

#### 1．研究の対象および研究対象期間

2018年1月1日から2022年3月31日までに昭和大学病院食道がんセンターで食道がんの治療を受けた患者さん

#### 2．研究目的・方法

周術期等口腔機能管理は手術後の誤嚥性肺炎等の合併症予防やがんにおける化学療法や放射線治療による口内炎などの口腔内疾病を予防軽減する支持療法であり、入院期間の減少や医療費の削減につながるといわれています。昭和大学病院歯科・歯科口腔外科でも、医科の各診療科より依頼のあった入院患者さんを対象に周術期等口腔機能管理を実施しています。その対象疾患は様々ですが、昭和大学病院食道がんセンターとは周術期等口腔機能管理が保険導入される前から連携をし、食道がんで手術を予定している患者さんの口腔健康管理を実施してきました。本研究の目的は、食道がん患者さんの口腔内状況、周術期等口腔機能管理の実態を調査することで、より効果的な口腔健康管理の方法を検討し、今後さらなる医科歯科連携を推進することです。昭和大学病院食道がんセンターで食道がんの治療を受けた患者さんの診療録を用いて調査を行い、周術期等口腔機能管理の介入状況と効果、今後の課題を検討します。

#### 3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

#### 4．研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、原疾患名、既往歴、診断名、治療内容、併用薬、血液検査結果、細菌検査結果、入院日、手術日、退院日、入院期間、術後合併症、経過表、転帰）

歯科・歯科口腔外科受診実施状況（歯科介入日、口腔内状況、歯科処置内容、パノラマX線写真、歯科介入回数、歯科衛生実施記録、周術期口腔機能管理記録、かかりつけ歯科、歯科的転帰）

**5．外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6．研究組織**

研究機関名 昭和大学病院

研究責任者 昭和大学歯科病院 歯科衛生室 柴田 由美

**7．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院 歯科衛生室

氏名：柴田 由美

住所：〒145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-5498-1903